

11番、伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 本定例会におきまして、3点の質問をさせていただきますので、ご答弁よろしくお願い申し上げます。東員町まちづくりアンケートについて、行財政改革について、環境問題についてでございます。

1点目でございますけども、東員町まちづくりアンケートでございますけど、第5次東員町総合計画、平成23年度から平成32年度の計画でございます。新しいまちづくり策定に当たりまして意見を伺うということで、8月1日から、町内2,500名の方を対象にしましてアンケートを始められた内容ですが、その内容につきましては、まちづくり協働委員会等が中心となって作成された設問35ですかね、回答内容につきましては100以上あったと思うんですけども、まちづくりのために全域にわたり参考となる貴重な問いかけがあったと思い、ご参照させていただきました。

その中で、全体でも気になっておるんですけども、特に2点について気がついた点について、町長に伺いますので、ひとつよろしくお話ししたいと思います。

1点目につきましては、問10の道路交通についてでございます。 の問いなんですけども、コミュニティバスの必要性についてどう考えますかという内容でございます。その項目で一番下と思ったんですけども、必要ないという回答の欄がございました。必要ないという回答の中で多くの回答がありましたら、コミュニティバス運行計画について中止か、あるいは再検討されるのか、町長に伺いたいと思います。

2点目につきましては、問14の情報通信についてのお尋ねと、問34の広報・公聴についてのお尋ねの ケーブルテレビを見えていますかという問いでございますけども、その内容を見ると、これからもケーブルテレビを加入継続しますかという問いかけがないので、ちょっと気になったんですけども、今後とも全戸が加入するというお考えでみえますか、町長に伺いたいと思いますので、ひとつよろしくお話し申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） 伊藤議員の「東員町まちづくりアンケートについて」のご質問にお答えをいたします。

新しいまちづくりを進めるための指針となる第5次総合計画は、平成23年度から10年間の長期計画で、今年度から3年間かけて策定する計画でございますので、着手をさせていただいたところでございます。

まちづくりアンケートは、8月の初旬に、18歳以上の住民の皆様の中から2,500名の方を無作為に抽出し、生活基盤をはじめ、現在取り組んでいる事業に対

しての満足度や、第4次総合計画の施策、主要事業の達成度について調査し、住民の皆様のご意見をお聞きしながら、計画策定を進めてまいりたいと考えております。

なお、アンケートについては現在集計作業中であり、結果については、ホームページや広報紙におきまして、お知らせをする予定をしております。

ご質問にございました、コミュニティバスやプラムチャンネルに関する質問及び回答に関することですが、コミュニティバスは、平成17年度から5年間の実証運行方式を行い、利用者や住民の皆様のご意見を十分に伺い、さらに改善を行って、よりよいコミュニティバスを目指しております。

年々ご利用いただく方がふえていることや、高齢者が今後ふえることが予測されることから、ますますコミュニティバスの必要性が高まるものと考えております。

この度のアンケートでは、皆様に必要性について、率直なご意見をお伺いいたしました。集計中で正確な結果は得ておりませんが、必要性はご理解いただいていると思っております。

ケーブルテレビへの加入につきましては、昨年実施しましたプラムチャンネルについてのアンケートで「デジタル放送に移行されることに伴い、視聴料金が生じた場合について」をお尋ねした結果、4.7パーセントの方が自宅にアンテナを立てて視聴すると回答され、その他、多数の方がケーブルテレビを利用したいとの結果を得ております。

来年度から番組作成や放送を民間ケーブルテレビ会社に委託することから、町の番組をご覧いただくには、ケーブルテレビに加入していただく必要がございます。また、3年後には完全デジタル化に移行いたしますことから、本年8月から完全移行するまでの間、住民の皆様にご覧いただけるよう、ケーブルテレビ会社と交渉をいたした次第でございます。今後、完全デジタル化に移行した時点で、安価な月額視聴料で、より多くのご家庭でご覧をいただけますように働きかけてまいりますので、皆様にご理解をいただき、1世帯でも多くの方に加入をいただき、町の放送番組をご覧いただくことをお願い申し上げます。

以上です。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） コミュニティバスにつきましては、アンケートの結果がまだと思いますけども、聞くところによると、エアバスとかよく聞くんです

けども、厳しい意見をいろいろいただいておりますので、もうあのバスは廃止して、利用される、車のない方とか不自由な方について、福祉バスを出したらどうかという意見もいただいておりますので、去年の利用者、平成19年度で9万人ですかね、そういう不要論もあるというのも、町長の方は知ってみえると思いますけど、その辺ももう一度再確認させていただきますので、ひとつよろしくお願いします。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

過日の町長と語る会の場でも、コミュニティバスの件については、町民の皆さんから貴重なご意見をいただいております。今年、今の結果でいきますと、10万人を突破していただけるかなというような状況で、年々乗っていただく方は着実にふえております。

そんな中でございますので、今年も来年度に向けて、実証運行の最終年度でございますけど、今、いろいろアンケートとか、乗客の皆さんのご意見とか、事業者の皆さんのご意見、それから運転手の意見等も聞きながら、再度、よりよい方向を見つけて、来年度にどうするか、決定をさせていただきたい。どんどんと東員町も高齢化時代に入ってきておりますし、坂道等もある団地でございますし、近鉄線の存続という重要なこともございます。そんなことで、この公共交通バス、鉄道を何とか守っていききたい、維持をしていききたい、そんな思いもございまして、大変厳しいところもございまして、一生懸命利用者に利用していただけるようなPRも今後重ねていききたいと思っておりますので、どうぞご理解をいただきたいと思っております。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 平成19年度で9万6,000名の方が利用されたということで、年々ふえてくるという予測、東員駅中心のまちづくりも十分理解しておりますけども、一般の方から見ると、線によりまして、空車で回ってる状況が多いということで、一般の方からいろいろ意見をいただくということで、最悪平成23年度からは徹底したダイヤの見直しというのですか、そういうことが必要かと私は考えております。エアバスにならないように、私個人も十分PRしていきますけども、徹底したルートの見直しも必要かと思っておりますので、その辺もひとつよろしくお願ひしたいと思っております。

それとケーブルテレビにつきましては、前回のアンケートまでは、ちょっと忘れておまして、今回この質問をさせていただきました。町の行政報告を私は全員の方に、今までどおり見てほしいということで質問させていただきました内容でございますので、前回のアンケートで言うと、90%以上の方が加入するという内容で理解したらよろしいですかね。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

ケーブルテレビにつきましては、前回そういうようなアンケートをとった経緯もございますので、今度のアンケートでは、どうこうということは聞かなかった。当然、今度の切りかえるテレビは、どこの市町村も有料ということでございます。3年後には有料化に入っていくわけでございますけど、そのこともあわせて、委託会社の勢慶映像ネットワークに、東員町の場合は現在100%のテレビを見ていただいておりますので、何とか継続して100%の皆さんに加入をしていただきたいという思いから、3年間無料でデジタル化の放映をしてもらいたい。そうすれば当然、町民の皆さんは、そのままアンテナを立てずに、御社のテレビ会社に移行されるという厳しいことを申し上げまして、無料で3年間していただくということになったのです。当然3年後には、そこで有料に入っていくんですけど、町としては、できたら今までどおり100%入っていただくのが一番最高なんですけど、いかんせん、中部電力の補償が切れてまいりますので、その補償分が個人の月額視聴料に入っていくと思うんですけど、それをできるだけ安価に、どれだけ安くできるか、その辺をこれからテレビ会社といろいろ検討させていただいて、町民の皆さんに、できることなら100%加入をしていただけるように努力をしてみたいと思いますので、どうぞよろしくお願いをしたいと思います。

以上です。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 今の町長のご回答で、2011年から3年間無料でいいということですか。それと2011年からの有料化の問題について、ほぼどれぐらいの視聴料というんですか、打ち合わせの内容も、まだ決定されてないと思うんですけど、大体500円で落ちつくのか、1,000円で落ちつくのかというところを、ちょっとお尋ねしたいんですけど、よろしくお願います。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

東員町と契約をしております勢慶映像ネットワークは、今現在、既に桑名市が月額1,000円で契約しとるんです。だから当然その額になってくる。近隣の市町も、四日市のケーブルCTVですか、その辺もやはり1,000円ぐらいです。東員町の場合はどれだけ安くできるか。それをこの3年間かけて、当然事業者の皆さんとか、我々の線の関係ですね、在来は中部電力の財産でございますので、その辺をこれから中部電力と一生懸命、東員町へ譲ってもらえるように努力をして単価を下げていきたい、そんな思いであるんですけど、なかなか至難の技でございます。ということで、普通であれば月額1,000円ということでございます。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） それでは次の質問に入らせていただきます。
行財政改革についてでございます。

1点目につきましては、敬老会のあり方につきまして、本年度の行財政改革ですね、計画につきましては、内容と住民参画の手法検討になっておりますが、その内容を町長に伺いたいと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

それから2番目が町民フェスティバルの方向性につきまして、私、以前も町長に質問をしたことがあるんですけども、私の聞くところによりますと、今あるフェスティバルの予算を若干縮小して、各自治会へ回して、自治会の祭り等に使って、いろんな交流を図りたいという意見を伺いますので、自治会長からですけども、その辺の町長の考えを、町長の在職中はずっとというふうに、前回、回答をもらっておりますけども、考えにお変わりはないか伺いますので、ひとつよろしく願い申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） 「行財政改革」についてのご質問にお答えをいたします。

まず1点目の、敬老会のあり方について、本年度の計画は「内容と住民参画の手法を検討」になっているがその内容は、とのことでございますけども、敬老会は毎年9月の敬老の日に合わせて、今日の豊かな社会を築いてくださった75歳以上の方をご招待申し上げ、実施しているところでございます。

運営に当たっては、各自治会及び民生児童委員の代表の皆さんと自治会長会の役員の特設協力員で構成される実行委員会により、運営をしております。

実行委員会では、当日、各地域の住民の皆さんに、バスの送迎、会場でのお世話をいただき、敬老会後には反省会を開き、翌年の実施について、さまざまな意見をいただき、検討しながら、よりよい事業が行えるように努めているところでございます。

過去、敬老会は学校区単位で開催をしておりましたが、町の人口が増加するとともに、昭和54年から町全体で開催することとなりました。当初は、婦人会と共同で運営をしておりましたが、さまざまな社会の動きもあり、現在の実行委員会で運営することとなりました。

今日、財源が厳しくなる中、行財政改革に向けて、さまざまな事務事業の見直しを行っているところですが、敬老会も、その見直し対象事業といたしているところでございます。

行財政改革検討委員会でも「年に1回の事業でもあり、もっと老人を敬ってほしい」などのご意見もいただき、実行委員会の反省を踏まえながら、実施しているところでございます。

今年度の運営方法につきましては、4月に開催されました自治会長会でご意見をいただき、7月に開催しました敬老会実行委員会でご了承をいただき、以前からも改善の要望が出ていました、案内状及び出欠確認を郵送で行うことにいたしました。

いずれにいたしましても、敬老会は町を挙げての大きな事業でございますので、住民の皆様のご協力がなくては開催できるものではございませんし、できるだけ多くの皆さんに係わっていただき、皆様とともに祝いすることに意義があるものと考えているところでございます。

今後の敬老会の実施について、実行委員会の反省会及び自治会長会にもご意見をいただきながら、よりよい方法を検討していきたいと考えております。

2点目のふれあいフェスティバルについてお答えをいたします。

今年は大変猛暑の中でしたが、第22回のふれあいフェスティバルを7月26日に、多くの町民の皆さんにご参加をいただき、盛大に開催させていただくことができました。

開催に当たりましては、運営協議会、実行委員会の皆様をはじめ、多くの町民の方々にご協力を賜り、感謝申し上げます。

フェスティバルの今後の方向性につきましては、町民の融和、次代を担う子どもたちの思い出づくりなどの観点からも、町を挙げてのイベントを実施することは大変意義深いものがあると確信をいたしておりますし、当日の皆さんの楽しんでいただいている姿を拝見すると、開催してよかった、今後も続けて実施していきたいと考えているところでございます。

しかしながら、実施するについては、広く皆様のご意見をお聞きしてとの考えから、現在、まちづくりアンケートの中でご意見をいただいております、集計ができましたら、運営協議会等におきまして協議をいただきたいと考えております。

よろしくご理解のほどお願いをいたします。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 先輩を敬うことは当然でございます。しかし、行財政改革が進む中で、全体項目で気になるんですけども、防犯灯の電気代の削減を各自治会にお願いし、また芝の管理等々ある中で、敬老会、フェスティバル、ほかにも挙げたらあるんですよ、そういうところにもっと入って、削減しないといかないかという意見をいただいておりますので、町長の今の敬老会のあり方の反省会の中では、中止したらどうかという意見も多数あったはずなんです。その辺のところ、町長はずっとやっていくという意見が多かったと聞いておりますけども、反対もあったと思いますので、その辺、確認したいので、よろしくお願ひしたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

反省会の場で、多数あったということは、私は聞いておりません。一部の方が、毎年言われるということは承知をしております。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） いろんな意見を言われる方についても、行財政改革は特に反対されてないのですよ。必要であるという意見なんです。それでも、全般的に入っていくのが普通やないかという、私は考えなんです。いつも一緒に、敬老会であれば、昨年度は820万円、フェスティバルは800万円かな、その内容を、先輩を敬うのは当たり前でございますけども、削減していかないと、それが行財政改革だと思いますけども、その辺も町長、もう一度よろしくお願ひしたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

当然、お金の面は重要だと承知をしております。敬老会につきましては、以前からすれば、やっていただく方にご負担をかけないようにということから、今年度についても出欠とか、そういうことを郵送に入っていておる。それから以前は記念品等の配布も、民生委員とか、いろいろの自治会長とか役員にお願いをしておったのを、業者にお願いをしていったということから、経費としてはふえていってしまった。

今後も、そういう敬老会ばかりではございません、いろいろのことで、ボランティア的な団体というんですか、助けていただけるような団体づくりというんですか、そんなことも目指して、経費がかからないようにしていくのも我々の仕事だと思っております。

今のところは、続けていくという中で、いろいろなご意見をいただいて、経費がかかるような方向でいってしまっている、そんな状況でございます。何とか町民の皆さんのご理解をいただいて、ご支援もいただきながら、経費削減も、これから一生懸命お願いをさせていただきますので、ご理解をお願いをしたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 行財政改革とはちょっと離れますけども、町長は高齢者の方の葬儀について、町の役職をされた方については参列してみえますね。あとは参列しなくなったような気がする、途中で方針が変わったような気がするんですけども、先輩を敬うということで、米寿、白寿、どちらでもいいんですけども、全員の方にお葬儀に参列されたらどうかと私は思いますけど、敬老会の場で、一人一人お渡ししてみるところを見ると、その方でも何かあった場合、町長がみずから参列するものではないかと私は考えますが、その辺、町長どうですか。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

葬儀の参列の件ですね。葬儀の参列の件で、最高齢者とか100歳を迎えられた方が亡くなったときに参列したらどうかということですね。その辺も検討はさせていただきます。なかなか一般の方等の参列もしておりません。公務と重なった場合に、私が参列できない場合、代理ということになると思います。そういうときに、いろいろ町民の皆さんから公平とか、何で私のところは、というようなことも出てまいりますので、今はやってないんですけど、先ほどの米寿とか100歳とか最高齢者とかという方だけに限定すれば、それは可能かなという感じはしておるんですけど、検討をさせていただきます。

議長（門脇 助雄君） ここで伊藤守一君に申し上げます。

ただいまの質問は若干通告外と思われるので、ご注意をお願いしたいと思います。

伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 通告外の検討、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは3点目の環境問題について、お尋ねいたします。

今期も暑い夏で、各家庭では庭木に水をまいている光景をよく見ました。ほとんどの家庭は水道水でございます。水を大切にする、資源保護として雨水を利用してみえる方も若干みえます。

それで、もっと雨水利用を拡大するというところで、雨水タンク等に補助金を出して利用拡大を図れないか、松下生活福祉部長にお伺いします。

よろしくお願ひします。

議長（門脇 助雄君） 松下忠生活福祉部長。

生活福祉部長（松下 忠君） 環境問題についてお答えをいたします。

ご質問にありますように、雨水を利用し、各家庭において、庭木や菜園への水やりは、資源の有効活用や省エネルギーの観点から極めて大切であると考えております。

そこで、雨水タンクの利用拡大と、それに対する補助とのことをございますけれども、考え方としては否定するものではありません。雨水の有効利用をされている方の中には、空きドラム缶や古くなった浴槽などの再利用で活用されてみえる方もあります。しかし、蚊の発生等、環境面からも検討する必要もございます。それぞれの家庭の事情で、設置スペースや景観などの面から、利用拡大が図れるかどうか、現時点では疑問を持っているところをございます。

したがいまして、住民の皆様方からのご要望がどれくらいあるのかを、しばらく様子を伺ってまいりますので、よろしくお願いいいたします。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 部長の答弁ですと、利用の様子を見たいということですが、私どもの企業もISO取得に絡んで、事業所は当然、本社もわざわざ環境部を設置して、我が家から始まるエコライフという取り組みの中で、水道については3番目に入っております。これも私どもの、この議会で発言するということは、組合員の要求があるということなんですよ。

これだけの取り組み、全体の取り組みの中で「さあ続けよう、家庭で省エネ運動」というような内容なんです。いろんな取り組み内容、いっぱいありますけど、これだけ力を入れている中で、部長が様子を見たいというと、これは5～6年無理かなという感じがするんですけども、普通のドラムとは全然違うんですよ、私の言っている意味は。インターネットで見てもらったらわかりますけども、きれいなタンクがいっぱいあります、蚊も入らないような。それは別ですよ、ドラム缶の利用は。

それと、東員町は水については困ってないので、そういう感じがするのかわかりませんが、96の自治体が補助をしているんですよ。内容までは私は確認しなかったんですけども、最低が2万2,000円ぐらいから3万円ぐらいですかね。最高いくと8万円とかあるんですけど、これは工事内容が違うと思うんですけど、そういう自治体もありますので、ぜひ利用様子伺いやなくて、もっと早い対応を再度お願いいしたいんですけど、部長、どうですか。

議長（門脇 助雄君） 松下忠生活福祉部長。

生活福祉部長（松下 忠君） 平成18年から取り組んでいる事業の中に、行財政改革というものがございます。その中にも補助金問題であるとか、使用料の問題、いろいろございます。その中で例えば補助金であれば、統合したり、縮小したり、打ち切りをしたりというような改革の手法もございます。

そういう観点から見て、はいわかりました、じゃあ環境に優しいことですからとって、すぐに実行できるものではございませんので、やはり御社の会社の中では、そういうPRをなさってみえるかわかりませんが、数はかなりあるかと思えます。ですけれども、私どもとしては町内全体でどれぐらいの要望があって、ああ、これならというところまで充足した時点も考慮にしながら、しばらく様子を見ていきたいということでご理解をいただきたいと思えます。

よろしくお願いたします。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） どうもありがとうございます。

様子伺いを、できれば1年おきにお聞きしにいきますので、今後ともよろしくお願申し上げます。

終わります。